

第50号 奈良LDの親の会『パンジー』

H30年 9月 発行

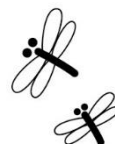
パンジー通信

ホームページ <http://www.pansy-nara.net/>

「パンジー」はLD及びADHD、アスペルガー症候群、高機能自閉症、軽度知的障害など、発達障害児(者)の親の会です

パンジー通信五十号 目次

- ・全国 LD 親の会 近畿ブロック会議報告 H30/3/11 2~3
- ・運営部 全国 LD 親の会公開フォーラム報告 4~5
- ・運営部 イオン黄色いレシートキャンペーン報告 5
- ・運営部 でいあ協議会および
奈良県発達障害者支援体制整備検討委員会 報告 6
- ・アド部 ぷろぼの新大宮事業所視察 7~8
- ・土曜会青年部 夏のデイキャンプ 2018. 8. 4 9~10
- ・パンジー各部活動報告
運営部・小中高部・アド部(高卒相当以上)・ピアカン、土曜会各部
..... 11~12
- ・パンジーの会 11月17日(土)講演会 お知らせ 13~14
「発達が気になるお子さんの日常生活の応援と教材教具の工夫
～感覚・運動を中心に～」講師 作業療法士 嶋崎和之先生
特別支援教育士 大庭譲治先生



皆さま、こんにちは。パンジー代表の入船です。

最近の行政の不祥事で、中央官庁による障がい者雇用の登録で3400名の水増しが発覚しました事件は、障がい者団体、一般企業から怒りの声が巻き上がりました。障がい者雇用は、一般企業の場合、全体雇用の2.2%、公共団体は2.5%と義務付けされています。これが達成できなければ、一般企業ならば一人当たり月額5万円の罰金です。それが無い各省庁は、何十年も国民を裏切った大犯罪であります。地方公共団体、教育機関へも調査のメスを入れ、これで障がい者雇用について、行政が真剣に取組が改善できればと思います。

11月は、作業療法士の嶋谷先生を迎え、「発達が気になるお子さんの日常生活のサポート方法」の講演会を予定して、多くの方がパンジーの活動を知って頂く活動を展開します。今年度も、皆さまと一緒にパンジーの会を広く知ってもらい拡大させていきましょう。

近畿ブロック会議報告

日時：2018年7月15日（日）13:00～16:30 場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

当番会：おたふく会

出席：正会員 明日葉、あおぞら、たつの子、翼、トムソーヤ、パンジー、はあとりんく、sky（スカイプ）理事長（井上）、評議員（齊藤、山口）出席者20人（うちスカイプでの遠隔会議参加1名）
欠席：らっきょうの花

【議題】

I. 第26回NPO鋒人全国LD親の会評議員会報告

1. 組織運営に関する審議

①第11回総会：2018年6月23日（土）13:00～14:15

愛知県産業労働センターにて実施

②【決議事項】第12回総会：2019年6月15日（土）13:00～14:15

国立オリンピック記念青少年総合センター

③第13回総会について

④2018年度会員状況：会員数2,637名。都道府県36都道府県43団体（昨年度2会退会）

2. 事業実施に関する審議

(1) LD等の発達障害に関する研究事業

①一般社団法人日本LD学会第27回大会：2018年11月23日（金祝）～25日（日）

場所：新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ 担当会：新潟いなほの会

親の会企画シンポジウム：発達障害のある高校生の実態調査からみた現状と課題～自立と社会参加に向けて～

②LD等発達障害のある高校生の実態調査：2018年11月LD学会大会で速報報告

③合理的配慮と基本的環境整備事例収集（次回10月末）

④その他：今後の研究事業（案）

(2) LD等の発達障害に関する理解啓発事業

①会報「かけはし」：87号 9月25日発行

②第17回公開フォーラム：2018年6月24日（日）実施 224名参加

③【決議事項】第18回公開フォーラム：2019年6月16日（日）

国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟

④特別支援教育支援員養成事業

・2018年度特別支援教育支援員養成講座 in 大阪 共催：大阪LD親の会「おたふく会」

日程：2018年8月25日～10月21日 会場：ドーンセンター、エル・おおさか

・2018年度ボランティア支援員養成講座 in 滋賀 共催：滋賀LD親の会「トムソーヤ」

日程：2018年8月4日（土）・5日（日）会場：RiseVille 都賀山 会議室アゼリア

⑤発達障害児のためのサポートツール事業

⑥理解啓発冊子販売事業（収益事業）

・教育から就業への移行実態報告書Ⅳ（全国LD親の会・会員調査）発行：2017年10月3日

・LD等の発達障害のある高校生の実態調査報告書Ⅲ（全国LD親の会・会員調査）

発行予定：2019年6月

・ブックレット作成案

⑦30周年記念事業について（2020年度） 記念講演会・記念誌について検討。

(3) LD等の発達障害のある人及び家族等の支援事業

①空白県対応

②2018年度 研修会：2018年6月23日（土）愛知県産業労働センター ウィンクあいち
テーマ：親亡き後の課題～自立の課題～ 参加：95名

③2019年度 研修会：2019年6月15日（土）
国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟

④2018年度 青年の交流会：2018年6月23日（土）
名古屋城・栄テレビ塔周辺散策・参加者：21名

⑤2019年度 青年の交流会：2019年6月15日（土）
国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 集合

(4) LD等の発達障害のある人に対する支援・制度の充実に向けた活動事業

①平成31年度予算要望：2018年5月15日提出 文部科学省 厚生労働省

②文部科学省関連

③厚生労働省関連

④JDDnet関連

⑤日本障害者協議会

⑥全国特別支援教育推進連盟

II. 2018年度近畿ブロック研修会

・日時：2018年11月18日（日）13：00

・場所：神戸 ・テーマ：「各会の現状と今後について」 ・当番：翼

III. 近畿ブロック体制について

・近畿ブロック全国評議員・会計・会議当番会確認 ・2017年度会計報告 ・2018年度予算案

・2018年度近畿ブロック青年の集いについて（滋賀トムソーヤ）：

12月9日（日）琵琶湖博物館 10月初旬募集開始

IV. その他

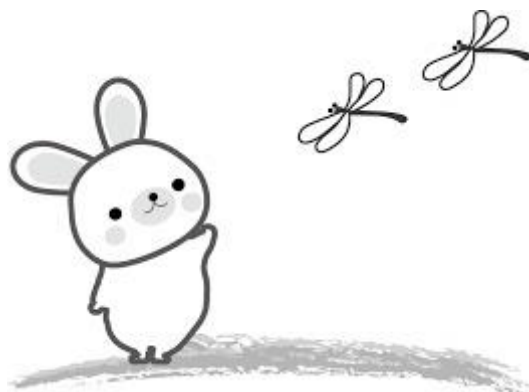
・「支援員交流会」開催の提案

・各会の活動報告

・2020年「アジア太平洋ディスレクシアフォーラム」について（岡山はあとりんく）：
2019年7月イベント開催

・次回近畿ブロック会議

日時：2019年3月10日（日）13：00 場所：岡山 当番：s k y



全国LD親の会 総会&公開フォーラム報告

～総会および研修会報告～

6月23日(土)に名古屋駅近くのウインクあいち5階小ホールにて、全国LD親の会総会が開催されました。全国から42団体のうち26団体が出席、議題はすべて承認され無事に総会は終了しました。そのあと、研修会があり、親亡き後の課題ー自立の課題 と題し、鈴木美登里先生が講師としてお越しいただきお話しいただきました。

親を卒業する、子どもであることを卒業するということが大事、親であることを続けることは、子どもに"子どもであること"を強制することになり、子どもはいつまでも子どもでい続け、親にさまざまな要求を突きつけたり、いつまでも子どものままでいようとすることになる。

自宅から通い、働いているから自立している、というのは自立ではなく、親以外の人の手、支援を借りながらも、一人で社会生活を送れるようになることが本当の自立であり、そのためにも、家事などの手伝いを労働として評価し、評価の報酬を小遣いとし、教育の段階から労働を身近に作っていく。社会参加(介護施設のボランティアや地域活動)、短期アルバイトやパソコンスキルアップなどを積極的に行い、就労準備を行っていく。など、今、我が子か何をすべきか、また今後どうしていくべきか、ということを実例を交えてお話しいただきました。

研修会の後は懇親会にも参加しました。全国各会の代表の方々はとても力強く明るく元気です。発達障がいの子を持ち、会の運営をしながら、同じ方を見て懸命に頑張っておられる姿に勇気をいただきました。

～公開フォーラム報告～

翌日27日(日)に同じウインクあいちで公開フォーラム「発達障がい者の青年期の現状と課題～教育から就労への移行支援～」がありました。

大変盛況で224名のご参加をいただき、発達障がい児者の就労でのあり方に皆さん大変関心を寄せられていました。

(1) 最初に、全国LD学会の柘植雅義理事長から「発達障害のある人への支援を繋ぐ～豊かな学びと生活と就労に向けて～」と題して提議されました。

「つなぐ=リレーランナー」であり、「学校」「生活」「就労」の各ステージはある程度充実してきたが、次のステージに繋がっていない。

発達障害支援法の改正点のポイントのなかにも

「発達障害者の支援は、性別、年齢、障害の状態、生活の実態に応じて、かつ、医療、保健福祉、教育、労働等の関係機関団体と緊密な連携のもと、切れ目なく行わなければならない」と変更されている。親の会の皆さんは、「欲しい支援は要求していこう」の実践を積み重ねてほしい。と分かりやすく、現状の分断されている支援の実態を解説頂きました。

(2) 全国LD親の会から「教育から就業への移行の現状の課題」を会員調査結果を解説。

手帳保持者が年々増加し73.6%。年金受給者も52%に増加。大学に進学した人でも「就業・障害」の割合が多い。「就業・一般」の人の転職は50%以上。30%が2年以内で退職。「就業・障害」の転職は20%以下となっている。

(3) 行政解説「文部科学省 特別支援教育課 中村信一課長」

「厚生労働省 地域就労支援室 田中歩 室長」

(4) パネルディスカッション

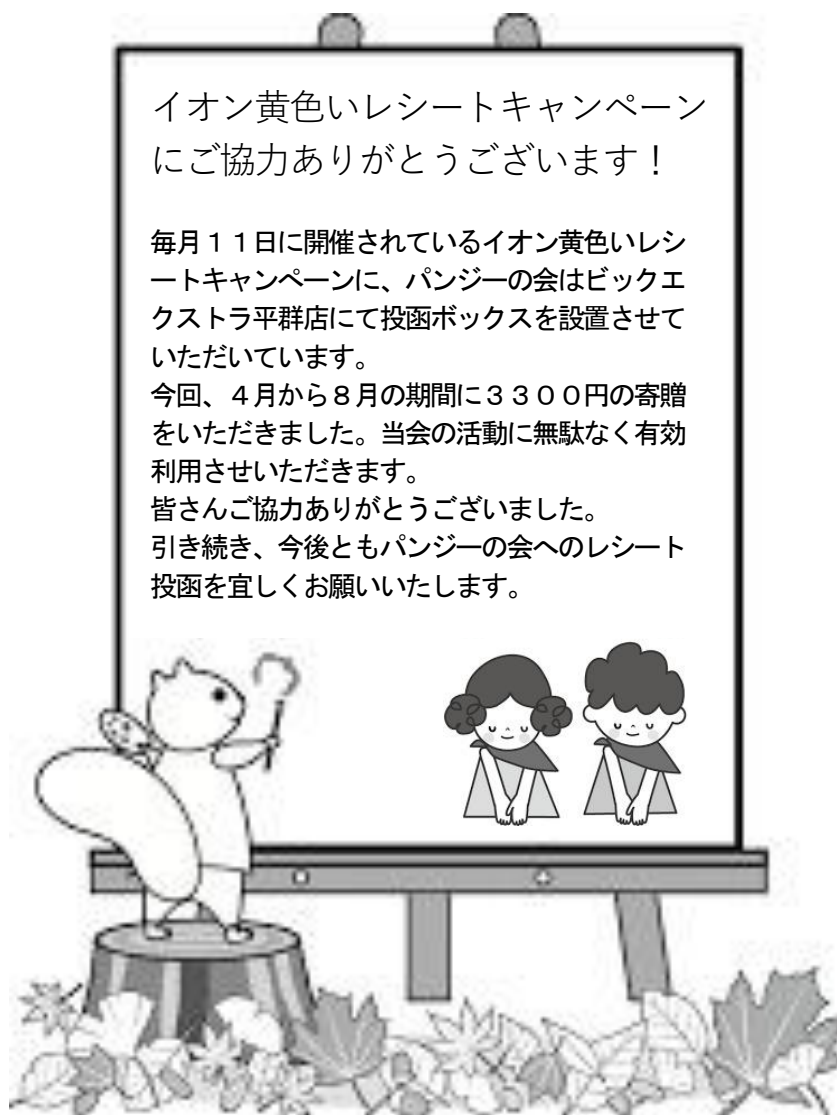
愛知障害者職業センター豊橋支所 野澤紀子支所長

NPO障がい者自立支援センター名古屋 山崎尚樹所長

名古屋大学 総務部人事課業務支援室 森田三由樹室長

フジパングループ本社人事部 村上佳恵係長、岡本冴可氏

現状、発達障がい者の就労をサポートして頂いている機関と実際雇用されている団体（大学）と企業の方にお越しいただき、勤務継続させるポイント、障害特性の理解と啓蒙について現場サイドにたった、説明があった。



運営部

でいあー連絡協議会および 奈良県発達障害者支援地域協議会 報告

～奈良県発達障害者支援センターでいあー連絡協議会～

6月19日に文化会館会議室にて行われたでいあー連絡協議会に参加してきました。でいあーは発達障害児・者の支援を行う拠点として、本人や家族・関係機関に対し適切な助言をし、また相談支援を受けられるよう地域の体制を整えています。相談員は本年増員し7名となっています。相談事業やペアレントメンター事業、そして今年度より大学生に対する支援強化、でいあーと教育研究所、早稲田大学とが連携をし、障害のある子どもの『働く力』を育てる支援プログラム開発事業をスタートしています。

親の会としては、自閉症協会・ポップコーン・アスカの会と当会が参加しました。各会からは、相談員の専門性の向上、また弁護士会、警察機関との連携や連絡協議会への参加などの要望があり、当会は、奈良県内の児童デイサービスについて、どのようなサービスが受けられるのか、作業療法士が在中しているのか、などの詳細が一目でわかるものはないのか、また全体把握をされているのか、と質問させていただきました。回答としては、奈良県福祉課のホームページに事業所一覧は掲載してあるが、内容までは把握しておらず、利用者には1つずつ検索し、事業所に連絡して調べてもらわないといけないとのこと、まだまだ私たちサービスを受ける側は手探り状態が続きます。

～奈良県発達障害者支援地域協議会～

奈良県発達障害者支援地域協議会に当会運営部より2名参加しました。年に一度、県全体の発達障害者の支援の充実に向け開催され、さまざまな親の会や大学、県の福祉関係の方などが来られています。当会からは、土曜会への作業療法士の訪問、助言をしてもらえないか、困っている親を当会のような親の会につないでいくシステムの構築をしてもらえないか、親の会と県の取り組みの連携、について質問をしました。作業療法士訪問は一定期間中(今年度の募集は終了しています)に申し込みば来ていただけるかもしれない、との回答をいただきました。

他の会からは、当事者の自己理解が必要であり、そのためには自尊感情が必要、そのためにも、余暇活動を充実し、自己評価を高めていくことが大切である、といったことや、児童デイなどの事業者を客観的に評価する必要性などの話がありました。

終了と同時に、奈良県発達障害者支援センターの開所式がおこなわれました。本日より奈良市からリハビリセンター2階に移転しました。リハビリセンター院長の挨拶では、従来の子どもの支援だけでなく今後、大人の発達障害の方への支援を充実させていけることをお話しされていました。

会議の後、奈良労働局 職業安定部 職業対策課 柏木課長とお話ししました。年に一度パンジーから訪問させていただいていることをお話ししました。労働局としても当事者の意見は重要なので、親の会との連携は大切にしたいと話されていました。奈良障害者職業センターの古川所長、奈良県 福祉医療部 障害福祉課の石原課長にも ご挨拶させていただきました。

今回の会議は、報告は少し短縮され意見交換に時間を配分してもらえた印象があります。以前参加したときは、報告会のようなので、少し改善された感じでしたが、質問に全て答えていただいた訳ではないので、質問の仕方や先に内容を練って文書にしていく等 今後参加するときの工夫は少し必要と感じました。

アド部

ぷろぼの新大宮事業所視察

1. 日 時 平成30年7月11日10時～12時30分

2. 場 所 新大宮事業所新館5階会議室

3. 参加者 アド部親6名 相手先 部長ほか3名

4. 概 要

(1) 事業説明 10時～10時30分パワーポイントにて説明を受けた。利用出来る制度は、

- ・2009年新大宮開設当初から実施の最長2年の就労移行支援事業
- ・2011年に一般就労が困難な方への受皿として開設した雇用契約のある就労継続支援A型作業所
- ・2012年開設の雇用契約のない就労継続支援B型作業所
- ・ぷろぼの発展過程で障害者の社会性の育成が必要と認識され(就労支援を受ける前提の基礎力をつける)、就職準備性を高めるために新たに2016年に開設した、最長2年の訓練期間がある自立訓練(生活訓練)と放課後等デイサービス事業
- ・小規模ながら地域で独立した生活を送るためのグループホーム事業

2016年開始の自立訓練はa.健康を管理する力、b.日常生活をする力(清潔、移動、金銭管理、ルール遵守等)c.職業生活を続ける力(定時出勤、ビジネスマナー等)を養うとしており、養護学校卒業生には、希望すれば、自立訓練から就労移行支援の4年の訓練が受けられることになっているとのこと。2016年にぷろぼの福祉ビルが完成、ビル内の放課後等デイサービス「ぷろぼのスコラ」新大宮校では、中高生を対象に、卒業の進路選択の幅を広げることを目的にパソコン学習、社会人スキル学習、身体能力向上、創作活動を各人に合ったプログラムを提供している。

就労移行支援の「テクノパークぷろぼ」新大宮では、職業生活を続ける力(ビジネスマナー等)仕事をする力(WEB政策課題、会計事務WP等を訓練するとともに、就職活動として企業体験、職場体験、内部実習、外部企業実習、面接練習、求人応募等を用意している。

就職後の定着支援は、法的に半年の時から、就労後も継続して相談支援を実施してきたが、法改正により3年間となり、支援がやり易くなっている。3年定着率は、全事業所で85%と高成績を達成しているとのこと。

(2) 訓練施設見学 10時30分～11時30分

新ビル、旧ビル内の訓練施設、A型・B型作業所等を視察 新ビルは、県内の木材を使用し、木材の暖かさを生かした明るく空間のある、全体が見通せるスペースになっている。作業所では、ホームページ作成、会計入力、パソコンリサイクル等を行っており、業務の質でA型、B型を分けて、一緒に作業を行っている。パソコン再生事業部の奥では、将来の事業を見据えたロボット(ペッパー)の活用プログラムを開発(平城旧跡の案内に活用中)していたのには驚きました。自立訓練と放課後デイは、15時から16時に入れ替わるとのこと。



(3) 質疑応答他 11時30分～12時30分

a. 訓練の利用条件について

まずは、手帳を取得していること(障害者手帳、療育手帳等)、訓練を見学していただき、面接後1～2日の体験をして頂き、気に入れば、住いの行政に利用申請をする必要があります。許可がおりれば、更に細部を事業所と取り決めして訓練を開始します。就労移行支援は、過去に職業訓練センターの訓練や作業所を利用していても利用可能です。一度卒業してから再度すぐには、行政も認めませんが、待機期間については、自治体の判断によります。自分で通所できること、食事やトイレ等が自分でできること、また、一般就労を目指しているため、週3日以上からのスタートを原則としているとのこと。通所時の服装は、ビジネスの服装とし、冬場は背広にネクタイを原則とし、夏場はオフィスカジュアルなものとしている、背広は面接時迄には、緊張しないように、慣れておくよう各企業から要望されているとのこと。外作業の際は必要の都度着替えるとのことでした。

b. 訓練期間について

本人と相談しながら決めていきますが、各個人のスキルがどの程度あるかにより変わる、社会経験のある方は短くなり、早い人で3ヶ月最長は、2年となるとのことでした。

c. A・B型の事業所の利用について

各作業にどの程度対応できるかは、実際に訓練しないとわからないので、まずは、訓練を受けて頂く必要があります。A型は雇用契約があり、入カスピード、正確性、技術が必要、また、週20時間以上で雇用保険や厚生年金などが関係してきますので、事前に能力を把握する必要があります。なお、B型の時給は、時間あたり300円程度とのこと。

近年、社会性の遅れが顕著な障害者に対し、在学中から、訓練を受けるプログラムができていることは、非常に有難いことと思いました。この新しい事業は、今後益々増えて行くように思えました、障害者の将来の選択肢がひろがることを期待したい。

昨今の事務職になるには、IT等多くのスキルが必要になる現状を踏まえ、段階的な育成プログラムがある当施設は、一定水準のある障害者の就労に向けて、有効なことが納得できました。会員の一人が「ここは水準が高いわね」と言いました。このような訓練施設にあわない子供達、障害の程度にかかわらず、働いてお金を得る喜びが、皆が得られるよう、少しずつでも、社会が進んでいってほしいと思いました。

なお、最近では、精神障害者よりも発達障害者の訓練者が多いとのことでした。

(昨年にハローワークを訪問した際、発達障害者の求職者が、年々増加しているとの話から、原因を訪ねてみたら、発達障害者と診断されるようになったこと、企業が以前のように社内教育に力を入れず、ついていけない人は、はじきだされること、仕事が複雑化し、多くのことを1人がこなす必要が生じていること。昔からの伝統技術等を生かした固定した専門職の仕事が激減し、関連した多くの中小企業が無くなっていることなどが考えられるとのこと、また、TVやゲーム等一方のメディアを幼い時から利用すると脳の発達に良くないとのアドバイスがありました。会員からは、先進国では、出生時の死亡率等の低下、医療の向上により、障害者は増加することは統計的に示されてもいるとのコメントもありました。)

5. その他 12時40分～14時

施設見学後、昼食を1階のゆったりとした社員食堂(定食550円)を利用し、その後コーヒー等(150円)を飲みながら、懇談をさせていただきました。障害者への、各自治体による医療費控除や各種手当の違い、障害年金申請に関する手続き等について、話し合いました。なお、5階の会議室は、家族会等ならば特別に時間あたりで利用が可能とのことでした。

土曜会青年部



パンジーの会は、幼保年長児から小学6年生までの“児童部”、中・高校生の“青年部”、大学生・社会人の“成人部”が活動しています。今回の夏のキャンプは、“青年部”主催です。

5. 6月の第2土曜日、青年部が会議を行い、夏のキャンプの計画を立てていきました。以前は、青年部のみで1泊2日のキャンプをしていましたが、4年前より「夏のキャンプは児童部の後輩を連れて行くのが当たり前だ」と、彼/彼女らが言い出し、“デイキャンプ”になりました。昨年までの生駒山麓公園から今年は場所を三郷町“信貴山のどか村”に変更。「三郷町にはウォータープールもあるよ。」と聞き、『のどか村の芝生広場で小学生たちを遊ばせ、昼食はパーベキュー、午後はプールで楽しもう。』ということになりました。

会議では、会長が司会をし、みんなで意見を出し合います。スケジュールを組み立て、バーベキューでは何を食いたいのか、何が必要か、お金はいくら必要か、遊びは何をするのか、また、どんな道具が必要か、誰が持ってくるのか等課題を出し合いながら、時として多数決で決めながら、計画書を作成していきました。

そして、7月の定例会議には最終確認をし、児童部に案内状を配り参加者を募りました。普段、小・中・高の学校生活で、このような会議にはなかなか参加できず、ましてや司会や黒板書記・ノート書記等させてもらえない彼/彼女らが積極的に計画書を練り上げます。そこには、いつも大学生（成人部メンバー）がアドバイスしてくれています。そして、何か等漏れ落ちがないかどうかを確認してくれます。

当日9:00信貴山下駅前に集合、車に乗り込み、山の上の“信貴山のどか村”へ。“児童部”のメンバーはそれぞれの家族ごとに現地集合。（児童部15名・青年部7名・成人部2名・大人12名）

9:30入場ゲート前で青年部会計がお金を徴収。青年部メンバーが率先して、みんなをデイキャンプ場まで誘導。芝生広場に小学生たちを引率して“ドッチビー&ドッジボール”やフィールドアスレチックで楽しませてくれました。

11:20より、バーベキュー。炭をおこすのも青年部。火をおこすのはお手のもの。青年部が分担して牛肉・ウィンナー・とうもろこしを焼いてくれました。並んでいる小学生や保護者たちに優しく配ってくれました。持参のおにぎりを焼きおにぎりにする人も。1時間ほどの楽しい昼食タイム。

13:00より、ゴミ拾い、荷物のまとめをし、のどか村を後に。



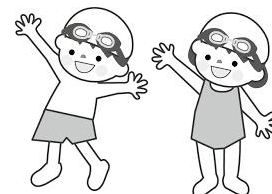
14:00 “三郷町ウォーターパーク” に到着。流れるプールでひと遊びすると、続いて、ウォータースライダーにチャレンジ。最初は一人用のウォータースライダーを、そのうち、成人部のメンバー2人が誘ってくれて、二人乗りのウォータースライダーに挑戦。

二人組みになったら要領が分かり、自分たちで声をかけはじめました。・・・今度好きな人と来たときは、きっと二人乗りのウォータースライダーに乗れるなあ?!・・・あっという間の2時間。

猛暑の中、朝9時から約8時間、青年部自身も楽しみ、また、児童部の後輩たちも楽しませてくれ、豊かな時間を過ごしました。みんな満足して、家路に着きました。

何よりも大きな収穫は、児童部・青年部・成人部が暖かい縦の繋がりができている事を実感できたことです。それをまた、各々の保護者たちもその周りで暖かく見守ることができました。お互いが支えあえる集団として、これからも見守っていきたいものです。

(文責：大庭譲治)



<参加者の感想>

○児童部より

小6女子

「プールにみんなで行けたのが楽しかった！皆々と沢山お話出来たのが一番楽しかった！」

小5男子

「お肉が美味しかった！スライダーは最後のバシャーンが楽しかったです。」

親

「なかなか接することのない先輩方と一緒に遊べる機会はとても有り難いです。プールでは思い思いに楽しんでいる様子が見れ良い雰囲気だと感じました。」

親

「暑さで心配しましたが、親子共々、沢山の方々と沢山お話出来て本当たのしかったです！青年部の方、全部準備していただき本当ありがとうございました。」

○青年部より

中2男子

「参加してくれた皆と話せて嬉しかった。バーベキューも美味しかったし、楽しかったです。参加できて良かったです。」

中2男子

「バーベキューで焼いている時に、網からトウモロコシを落としてしまったので、来年はきをつけようと思った。」

高1女子

「小学部の子たちと遊べてよかった。とても楽しかった。」

親

「2回目の参加でしたが、落ち着いて楽しそうに思いました。来年は、集合場所まで自力で行けたらいいなと思いました。」

親

「最後の挨拶や、色々な機会リーダーにさせてもらって、本人の良い経験となってます。」

親

「今回は息子のみ参加させて貰いました。青年部での活動で自分の役割や責任も考えて行動できるようになったと思います。本当に有難うございました。」



パンジー各部活動報告 & 今後の予定

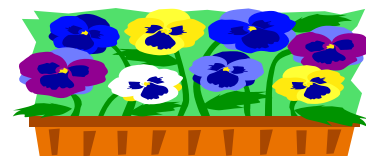
《 運 営 部 》

活 動 報 告

- 5月27日 パンジー総会・地域別交流会（あすなら苑）
- 6月19日 奈良県発達障害支援センターでいあ一連絡協議会（奈良県文化会館）
- 6月23日 全国LD親の会総会（ウインクあいち）
- " 青年の交流会（名古屋城と栄見学）
- 6月24日 公開フォーラム（ウインクあいち）
- 7月15日 近畿ブロック会議（大阪ドーンセンター）
- 7月20日 奈良県発達障害者支援地域協議会（リハビリセンター）
- 7月22日 役員会議（あすなら苑）
- 9月 9日 役員会議（あすなら苑）

今 後 の 予 定

- 9月12日 パンジー通信印刷発行（はぐくみセンター）
- 11月17日 パンジー講演会
「発達が気になるお子さんの日常生活の応援と教材教具の工夫
～感覚・運動を中心に～」(福祉パーク)
- 11月18日 近畿ブロック研修会（神戸）
- 11月23日 第26回日本LD学会総会
～25日（新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ）
- 12月 2日 パンジー全体交流会（あすなら苑）
- 12月 9日 近畿ブロック青年の集い（琵琶湖博物館）



《 小 中 学 部 》

活 動 報 告

- 5月16日 サロン川西
- 6月20日 サロン川西
- 7月14日 夏のレクレーション(バイキング)

今 後 の 予 定

- 9月19日 サロン川西
- 10月17日 サロン川西
- 11月21日 サロン川西
- 12月19日 サロン川西

今年も奈良県くらし
創造部より今年もオ
リックスの野球チケ
ットをいただきました。
みんな野球観戦
を楽しみました！



《 アド部 》

活 動 報 告

- 5月27日 総会および地域別交流会
- 7月12日 ぷろぼの見学会、ランチ会

今 後 の 予 定

- 9月12日 印刷後おしゃべり会
- 9月18日 行政等訪問(労働局、県庁他)
- 12月 2日 全体交流会

《 ピアカン 》

活 動 報 告

- 7月20日 奈良県発達障害者支援地域協議会参加
- 7月23日 調理実習準備会

今 後 の 予 定

- 9月12日 印刷参加 おしゃべり会
- 9月27日 ペアレントメンター活動 in筒井

土曜会各部

土曜会は、特別支援教育士SVの大庭譲治先生が共に活動するソーシャルスキルトレーニング（SST）学習の場です。土曜会活動は、小学生の児童部、中高生の青年部、18歳以上の成人部の3つの部に分かれて活動しています。

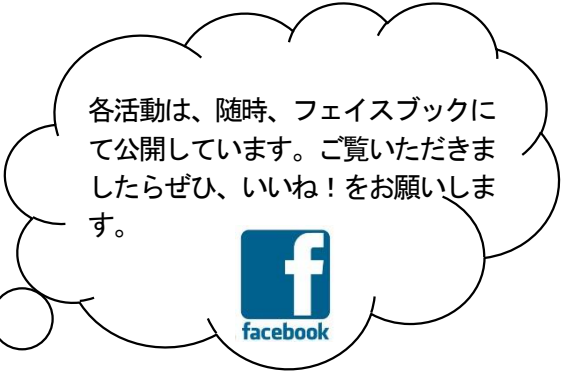
児童部

活動報告

- 5月12日 土曜会活動／福祉センター
- 6月9日 土曜会活動／福祉パーク
- 7月14日 土曜会活動／福祉パーク
- 8月4日 夏のデイキャンプ
(のどか村・三郷町ウォーターパーク)

今後の予定

- 9月8日 土曜会活動／福祉パーク
- 10月13日 土曜会活動／福祉センター
- 11月10日 土曜会活動／福祉センター
- 12月8日 土曜会活動／福祉パーク
(クリスマス会)



青年部

活動報告

- 5月12日 土曜会活動／福祉センター
- 6月9日 土曜会活動／福祉パーク
- 7月14日 土曜会活動／福祉センター
- 8月4日 夏のデイキャンプ (のどか村・三郷町ウォーターパーク)

今後の予定

- 9月8日 土曜会活動／福祉パーク
- 10月13日 土曜会活動／福祉センター
- 11月10日 土曜会活動／福祉センター
- 12月8日 土曜会活動／福祉パーク(クリスマス会)



成人部

活動報告

5月19日 大和八木 鳥貴族
幹事は小林君で13名参加しました。
九州からM君が参加してくれました。
今回も大和中央高校の先生、介護士の上地さんが参加していただき、みんなと和気あいあいに話が出来ました。

8月18日(土) オリックス vs ソフトバンク
7名で参加しました。オリックスは負けました。

今後の予定

11月17日(土) 開催いたします。
幹事は、H君です。

パピボラを募集しています!!